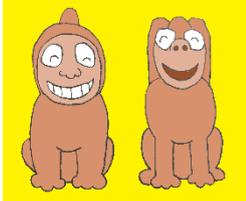


歴民だより

富山市亀谷1番地

電話 481-1415



みなさん、こんにちは。ぼくたちは、有峰の狛犬、通称「シシ」と呼ばれています。大正9年にダム建設のために解村となった有峰村東谷宮社殿の見世棚に、4対(シシ・サル・ヌエ・クマ)8体の狛犬が置かれていました。現在、富山市指定有形民俗文化財となっており、大山歴史民俗資料館に常設展示されています。

有峰の狛犬は、ダムに沈んだ有峰村の文化の一端を知ることのできる貴重な資料となっています。

この「歴民だより」では、大山歴史民俗資料館の常設展示や企画展等の様子を紹介していきます。よろしくお願いします。



【有峰の狛犬】

ミニ企画展 令和2年2月22日(土)～4月19日(日)

かわってきた人々の暮らし「はかる」—量る・測る・計る—

重さを量る、数値を測る、時間を計るなど、「はかる」は、私たちの暮らしや国内外の科学の分野を支えてきました。この企画展では、精度、迅速、小型化等、「はかる」機器の進歩につながった昔の道具を紹介しました。



天秤秤



分銅



枡



台秤



流速計



枡

春のミニ研修会

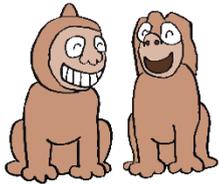
6月7日(日)、寺島禎一氏(元立山博物館学芸員)を講師として、大山歴史民俗研究会の春季ミニ研修会が開催されました。

講演会では、弥陀ヶ原火山噴火や常願寺川の流路等について詳しく説明をしていただきました。

さらに、実地研修として、資料館駐車場横の斜面で火山の噴出物と思われる岩石を観察することで、火砕流の痕跡を確認することができました。



【岩石の観察】



大山の三賢人

現在、第1展示室では、大山の三賢人(宇治長次郎・金山穆韶・播隆上人)について常設展示しています。今回は、その中から「山の名ガイド 宇治長次郎」を紹介します。

宇治 長次郎(うじ ちょうじろう)

○ 子供の頃から山仕事

長次郎は明治4年、現在の富山市和田(大山地域)で生まれました。長次郎は子供の頃から、木を切ったり、砂防工事の現場で働いたりしていました。

○ 劔岳登頂

明治40年、長次郎は陸軍陸地測量部から劔岳頂上までの案内を依頼されました。当時、劔岳はだれも登ったことのない神聖な山と考えられていました。長次郎の案内で、測量部一行は雪渓を進み、頂上に三角点を設置することができました。

○ 近代スポーツ登山のはしり

明治42年、日本山岳会という一般の人たちを案内した劔岳登山は近代スポーツ登山のはしりでした。この時、案内した谷は「長次郎谷」と命名され、登山史を飾ることになります。

※ その他、黒部峡谷踏破など、大山歴史民俗資料館では、宇治長次郎の偉業や人物像について詳しく紹介しています。



お知らせ

大山歴史民俗資料館では、今年度、「薬師岳」をテーマにした企画展を予定しています。

企画展 「薬師岳入門」(仮題)

令和2年10月17日(土)～12月13日(日)

ミニ企画展 「薬師岳写真展」

令和3年 2月 6日(土)～ 3月21日(日)

※ 都合により、会期等が変更になる場合があります。

※ 詳細については、今後、ホームページ等でお知らせします。



【薬師岳金作谷カール】

ホームページでは、大山歴史民俗資料館の詳しい説明や大山地域の四季の姿をご覧くださいね。
WEB サイト「大山歴民」で検索してね。

